**「花きの消費行動」に関するアンケート　リサーチプラン**

**１．調査目的**

我が国の花き産業は、安価な切り花の輸入増加や国内での花きの消費低迷から国際競争力の強化や生産担い手の確保が課題となっている。

このような中、大阪府では、「花きの振興に関する法律」に基づく花き産業及び花き文化の振興に関する計画の策定を予定。

今後の大阪府における花き産業や花き文化の振興に向けた施策立案の検討資料とするため、府民の花きに対する意識や消費行動等を調査する。

1. **調査（検証）項目**

仮説１　花き文化が重要だと考えている又は「花の効用」を認識している人ほど、花きの消費（飾る・贈る・育てる）も多い

仮説２　花きの観賞（観光）や花きを学ぶ経験の多い人ほど、花きの消費（飾る・　　　贈る・育てる）も多い

仮説３　花きの消費行動の頻度は、同居家族の有無や住まいの形態によって差がある

**３．質問項目**

※初めに花きの説明

1. 花き文化振興の必要性意識（SA）
2. 【必要と思っている人】必要とする花き文化の内容（MA）安らぎ、景観、社会文化、子育て・・・
3. 学術的に立証されている花の効用の認知度（SA）
4. 花きを飾る頻度(仏花や供花)（SA）
5. 花きを飾る頻度(仏花や供花以外)（SA）
6. 花きを贈る頻度（SA）
7. 花きを育てる頻度（SA）
8. 花きを観賞（観光）する頻度（SA）
9. 花きの学習頻度（SA）
10. 購入目的別（飾る・贈答・栽培）の購入場所（組表）
11. 購入目的別（飾る・贈答・栽培）の購入価格帯（組表）
12. 花きの購入理由（MA）
13. 花きの観賞や学習をする際の情報入手媒体（MA）
14. 造花の購入経験（頻度含む）（SA）
15. 花の文化園の認知度(SA)
16. 花の文化園への来園経験（頻度含む）（SA）
17. 府内花き産地の認知度(SA)
18. 同居家族の有無(SA)
19. 家族構成(SA)
20. 住まいの形態(SA)

**４．検証方法**

仮説１　Q1、Q3×Q5、Q6、Q7

仮説２　Q8、Q9×Q5、Q6、Q7

仮説３　Q18、Q20×Q5、Q6、Q7